

1. 投稿内容

投稿の内容は人間ドックおよびその領域に関連する原著、症例報告、短報、総説、Letters to the Editorなどで、他誌に発表されていないものに限り、特別寄稿は原則として編集委員会からの依頼論文とします。

なお、臨床研究に関する論文は1964年のヘルシンキ宣言(以後の改定を含む)の精神に則ったものでなければなりません。すなわち、論文の内容が疫学研究あるいは臨床研究の場合は、その研究計画が自施設の倫理委員会あるいは日本人間ドック学会倫理委員会の承認を得ていること、ならびに対象者のインフォームド・コンセントが得られていることが必要です。また、そのことを本文中に記載してください。症例報告の場合は、受診者のプライバシーに十分配慮し、インフォームド・コンセントを得た上で投稿してください。

2. 投稿資格

投稿者は本学会正会員、施設会員、および名誉会員とします。編集委員会が特に認めたものは、この限りではありません。

3. 投稿様式

投稿原稿は、和文は全角、英数字は半角で、Microsoft Word他のオンラインシステムにアップロード可能なファイル形式で作成してください。

アップロード可能なファイル形式: doc(docx), xls(xlsx), ppt(ppptx), jpg, tiff, gif, ai, eps, psd
また、ファイル名は、必ず、半角英数字で入力し、拡張子をつけてください。

ファイル名の例: honbun.doc., zu1.jpg., hyou1.xls.等

ご使用になったMicrosoft Officeのバージョンを、「カバーレター」(アップロードする際の頭書きを記載する部分)に記載してください。

論文の長さは題名、和文・英文要約、図、表、文献を含み、原著刷り上がり6頁(12,000字)以内、症例報告・短報4頁(8,000字)以内、総説8頁(16,000字)以内、Letters to the Editor半頁(1,200字)以内を原則とします。

用語は日本医学会編「日本医学会医学用語辞典英和・和英」(日本医学会医学用語辞典WEB版: <http://jams.med.or.jp/dic/mdic.html>)、日本内科学会編「内科学用語集」により、略語については巻末の「日本人間ドック学会誌 略語一覧」を使用すること。掲載略語以外は、初出時に正式用語を使い、()に略語を示す。

外国語は固有名詞、文頭にきた語句のみ、最初の1字を大文字とします。

度量衡の単位はSI単位を原則とします。(例)kg, g, mg/dL, L, mL, m, cm, °Cなど、数値には3桁ごとに(,)を入れます。(例)1,234,567,890

図、表は計10点以内とします。図、表はA4サイズ以下で作成し、1枚につき原稿400字分とします。図、表の挿入位置は、本文中の該当箇所に(表1)のように入れてください。画像ファイルは、本文とは別ファイルにて作成して、アップロードしてください。原稿の末尾に、図、表の標題および説明を番号順にまとめて記載してください。

統計解析にソフトを使用した場合は、ソフト名等を記載してください。(例)統計解析ソフトはSPSS ver17 for Windowsを用いた。

4. 投稿論文の書き方

(a) 論文記載の順序、形式

(1) タイトル頁: 題名、著者名、所属機関、所在地および筆頭著者の職種、氏名、連絡先(Tel, Fax,

E-mail), 別刷りの希望部数を書いてください。なお, 題名, 著者名, 所属機関には英文を併記してください。

- (2) 2頁目: 和文要約(600字以内)を目的:, 方法:, 結果:, 結論:の順に書いてください。キーワードを4個以内で併記してください。
- (3) 3頁目: 英文要約(ダブルスペース, 250 words以内), キーワード(英文)を4個以内で併記してください。なお, 英文要約についてはその作成を学会に依頼することも可能ですが, その場合には有料となります。英文要約を学会で作成することを希望される場合には, その旨を3頁に明記してください。
- (4) 4頁目以後: 本文を書き, 緒言(はじめに), 対象, 方法, 結果(成績), 考察(考案), 結語(まとめ), 利益相反(Conflict of Interest), (謝辞), 文献の順として, それぞれ行を変えてください。

(b) 文献の引用

- (1) 本文中に引用番号順に番号を「福間ら¹⁾の研究によれば……」のように上付きで入れてください。
- (2) 雑誌の引用の場合, 略号は日本文献は医学中央雑誌, 外国文献はIndex Medicusに従ってください。著者が4名以上の場合は3名併記のうへ「ほか」または‘et al’としてください。

(例)1) 福間淑子, 海老沢雅子, 佐藤勤子ほか: 除菌治療への誘導を意識した健診専門施設の胃がんリスク検診(ABC分類) - 当施設受診者の偽A群とD群の特徴 -。人間ドック 2016; 31: 435-444.

2) Arase Y: Evaluation of Severity and Complications of Nonalcoholic Fatty Liver Disease. Ningen Dock Int 2014; 1: 16-23.

- (3) 単行本の引用の場合, 著者名(上記の通り), 題名, 監修・編者名, 書名, 版数, 発行所名, 発行地, 発行年号(西暦)引用頁-頁の順としてください。

(例)1) 鏑木淳一: IV 検査項目とその判定・事後指導計画 16. リウマトイド因子・血清梅毒反応。日本人間ドック学会監, 篠原幸人編, 人間ドック健診の実際, 文光堂, 東京, 2017, 174-175.

2) Kaplan NM: Measurement of blood pressure. In: Kaplan NM(ed), Kaplan's Clinical Hypertension. 7th edit, Lippincott William & Wilkins, Philadelphia, 2002, 25-55.

- (4) ホームページの引用の場合, 著者名: タイトル. 発表年, 引用元のURL[確認した日付*]の順としてください。*引用のために確認した日付を記入してください。

(例)1) 厚生労働省健康局総務課 生活習慣病対策室: 禁煙支援マニュアル。2006, <http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/kin-en-sien/manual/index.html>[2012.3.2]

2) Ministry of Health, Labour and Welfare: Fact sheet of abridged life tables for Japan 2010. 2011, (In Japanese) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life10/index.html> (accessed July 28, 2011)

5. 原稿の採択

受け付ける原稿は投稿規定に従ったものとします。投稿規定に従っているかは, オンライン上に投稿用チェックリストがありますのでチェックしてください。投稿規定に従っていないものは受理せず返却しますので投稿規定に従って書き直しをして再提出してください。受理した原稿の採否および掲載順序は編集委員会が決定いたします。査読終了後の再投稿は, 3カ月以内とします。それ以後は新規論文として扱います。

6. 原稿の校正

校正は初校のみを著者校正としますが, 校正に際しては原則として文章の書き換え, 図, 表の変更は認められません。

7. 別刷り

別刷りを希望する場合は投稿時に申し込んでください。

30部までは無料ですので、「100部希望：30部(無料) + 70部」のようにタイトルページに明記してください。なお、有料分は20部から10部単位で受け付け、1部100円(税別)をいただきます。

8. 掲載料

刷り上がり原著6頁、症例報告・短報4頁、総説8頁、Letters to the Editor半頁までの費用は当学会の負担とします。それ以上の頁の費用については、1頁ごとの超過掲載料10,000円を著者の実費負担としていただきます。

また、図、表のトレースが必要だった場合や、カラー印刷を希望される場合の費用も著者の実費負担となりますので留意してください。

9. 著作権

論文の内容については、論文の筆頭者が著作者の人格権を代表し、実質的な責任を負います。

また、論文が受理され、本誌に掲載された論文の著作権は当学会に委譲されますので、著作権委譲に関する用紙(投稿承諾書)に著者全員の署名をし、投稿時にオンラインシステムにアップロードするか、または郵送にて提出して下さい。投稿承諾書は綴り込みのもの(コピー可)を使用するか、本学会ホームページからダウンロードして使用して下さい(手順：学会ホームページ→学会誌→投稿規定→投稿承諾書)。

なお、本誌に掲載された論文は当学会ホームページに掲載いたします。

10. 利益相反

利益相反がある場合には開示が必要ですので、オンラインシステム上に記載して下さい。

11. 発行月

本誌の発行は年5回(原則6月、8月、9月、12月、3月)とし、8月号は日本人間ドック学会学術大会抄録集とします(ただし、日本人間ドック学会学術大会の開催日により、抄録集の発行月が変わる場合があります)。

12. オンライン投稿先

原稿は、以下のオンライン投稿・査読システム(ScholarOne Manuscripts)よりご投稿ください。

<http://mc.manuscriptcentral.com/ningendock>

(問い合わせ先)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-10 外苑マンション605

株式会社サイエンティスト社内 日本人間ドック学会誌「人間ドック」編集部

電話：03-3354-2004 FAX：03-3354-2017

E-mail：sadoku@scientist-press.com

附記1：図、表などの引用について

「人間ドック」への投稿に際して、図、表などの引用について注意してください。

1) 引用に際して原著者などの許諾が必要な場合

下記の諸条件をすべて満たす場合には、著作権法上原著者、出版社、学会などの許諾がなくても引用可能です。

- ・既に公表されている著作物であること。
- ・引用する図、表などの量が客観的に正当な範囲(引用者の良心に従う)であること。

- ・ 図、表などの引用に際して、原型のままの掲載が不可欠であること。なお、改変して引用する場合には許諾が必要となります。
- ・ 原著者の名誉を毀損したり、原著者の意図に反した利用法をしないこと。
- ・ 出典を明示すること。

2) 引用に際して原著者などの許諾が必要な場合

上記の条件を一項目でも満たさない場合には、著作権法上の引用の範囲を逸脱することになり、「人間ドック」投稿前に、原著者、出版社、学会などの著作権保有者からの許諾を取得する必要があります。なおこの際には、著作権使用料の支払いが発生することがあります。

附記2：参考とすべき倫理指針等

- 1) 「臨床検査を終了した検体の業務、教育、研究のための使用について－日本臨床検査医学会の見解－」(日本臨床検査医学会 臨病理 2010；58：101-103.)
- 2) 「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」(平成13年3月29日 文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号 平成16年12月28日全部改正・平成17年6月29日一部改正，平成20年12月1日一部改正，平成25年2月8日全部改正，平成26年11月25日一部改正，平成29年2月28日一部改正)
- 3) 「遺伝子治療臨床研究に関する指針」(平成27年8月12日 厚生労働省告示第344号 平成29年4月7日一部改正)
- 4) 「遺伝学的検査に関するガイドライン」(平成23年2月 遺伝医学関連10学会：日本遺伝カウンセリング学会，日本遺伝子診療学会，日本家族性腫瘍学会，日本産科婦人科学会，日本小児遺伝学会，日本人類遺伝学会，日本先天異常学会，日本先天代謝異常学会，日本マスキリーニング学会，日本臨床検査医学会(以上五十音順))
- 5) 「ヒト遺伝情報に関する国際宣言」(UNESCO October 16, 2003)
- 6) 「ファーマコゲノミクス検査の運用指針」(平成21年3月24日 日本臨床検査医学会，日本人類遺伝学会，日本臨床検査標準化協議会 平成21年11月2日改定，平成24年7月21日改正)
- 7) 「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(平成23年2月 日本医学会)
- 8) 「厚生労働科学研究における利益相反(Conflict of Interest：COI)の管理に関する指針」(平成20年3月31日：厚生労働省 平成29年2月23日一部改正)
- 9) 臨床研究の利益相反(COI)に関する共通指針(平成22年4月12日：内科系関連10学会)
- 10) 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年12月22日：文部科学省・厚生労働省 平成29年2月28日一部改正)
- 11) 「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」(平成29年4月14日：厚生労働省 個人情報保護委員会)

[改訂日：平成31年3月1日]

1. 投稿内容

投稿の内容は人間ドックおよびその領域に関連する原著、症例報告、短報、総説、Letters to the Editorなどで、他誌に発表されていないものに限り、特別寄稿は原則として編集委員会からの依頼論文とします。

なお、臨床研究に関する論文は1964年のヘルシンキ宣言(以後の改定を含む)の精神に則ったものでなければなりません。すなわち、論文の内容が疫学研究あるいは臨床研究の場合は、その研究計画が自施設の倫理委員会あるいは日本人間ドック学会倫理委員会の承認を得ていること、ならびに対象者のインフォームド・コンセントが得られていることが必要です。また、そのことを本文中に記載してください。症例報告の場合は、受診者のプライバシーに十分配慮し、インフォームド・コンセントを得た上で投稿してください。

2. 投稿資格

投稿者は本学会正会員、施設会員、および名誉会員とします。編集委員会が特に認めたものは、この限りではありません。

3. 投稿様式

投稿原稿はワードプロセッサを使用し、本文はA4判用紙にMS明朝体、12ポイント、和文は全角、英・数字は半角で、40字×20行の横書きとし、CD-ROMでの提出を原則とします。またプリントアウトした原稿を2部添付してください。なお、CD-ROMには使用したOS (WindowsまたはMacintosh)、使用ソフトウェア名とそのバージョン番号を明記してください。

論文の長さは題名、和文・英文要約、図、表、写真、文献を含み、原著刷り上がり6頁(12,000字)以内、症例報告・短報4頁(8,000字)以内、総説8頁(16,000字)以内、Letters to the Editor半頁(1,200字)以内を原則とします。

用語は日本医学会編「日本医学会医学用語辞典英和・和英」(日本医学会医学用語辞典WEB版：<http://jams.med.or.jp/dic/mdic.html>)、日本内科学会編「内科学用語集」により、略語については巻末の「日本人間ドック学会誌 略語一覧」を使用すること。掲載略語以外は、初出時に正式用語を使い、()に略語を示す。

外国語は固有名詞、文頭にきた語句のみ、最初の1字を大文字とします。

度量衡の単位はSI単位を原則とします。(例)kg, g, mg/dL, L, mL, m, cm, °Cなど、数値には3桁ごとに(,)を入れます。(例)1,234,567,890

図、表は計10点以内とします。図、表、写真は1枚につき、原稿400字分とします。図、表、写真は、写真製版のためそのまま利用できる「汚れのない明瞭な原画」を添付してください。なお、サイズは編集の都合により適宜変更する場合があります。図、表はA4判の別紙に、写真はA4判の台紙に貼り、写真は台紙の裏に筆頭著者名、写真番号と天地を明記し、それぞれにまとめて原稿の末尾に添付してください。また挿入の場所を原稿の欄外に明記してください。あるいはデータを保存し、OS名やバージョン番号を明記したCD-ROMでお送りください。さらに、図、表、写真の表題および説明を別紙に和文で番号順にまとめて原稿の末尾に添付してください。

統計解析にソフトを使用した場合は、ソフト名等を記載してください。(例)統計解析ソフトはSPSS ver17 for Windowsを用いた。

4. 投稿論文の書き方

(a) 論文記載の順序、形式

(1) タイトル頁：題名、著者名、所属機関、所在地および筆頭著者の職種、氏名、連絡先(Tel, Faxあ

ればE-mail), 別刷りの希望部数を書いてください。なお, 題名, 著者名, 所属機関には英文を併記してください。

- (2) 2頁目:和文要約(600字以内)を目的:, 方法:, 結果:, 結論:の順に書いてください。キーワードを4個以内で併記してください。
- (3) 3頁目:英文要約(ダブルスペース, 250 words以内), キーワード(英文)を4個以内で併記してください。なお, 英文要約についてはその作成を学会に依頼することも可能ですが, その場合には有料となります。英文要約を学会で作成することを希望される場合には, その旨を3頁に明記してください。
- (4) 4頁目以後:本文を書き, 緒言(はじめに), 対象, 方法, 結果(成績), 考察(考案), 結語(まとめ), 利益相反(Conflict of Interest), (謝辞), 文献の順として, それぞれ行を変えてください。

(b) 文献の引用

- (1) 本文中に引用番号順に番号を「福間ら¹⁾の研究によれば……」のように上付きで入れてください。
- (2) 雑誌の引用の場合, 略号は日本文献は医学中央雑誌, 外国文献はIndex Medicusに従ってください。著者が4名以上の場合は3名併記のうえ「ほか」または「et al」としてください。

(例)1) 福間淑子, 海老沢雅子, 佐藤勤子ほか: 除菌治療への誘導を意識した健診専門施設の胃がんリスク検診(ABC分類) - 当施設受診者の偽A群とD群の特徴 -。人間ドック 2016; 31: 435-444.

2) Arase Y: Evaluation of Severity and Complications of Nonalcoholic Fatty Liver Disease. Ningen Dock Int 2014; 1: 16-23.

- (3) 単行本の引用の場合, 著者名(上記の通り), 題名, 監修・編者名, 書名, 版数, 発行所名, 発行地, 発行年号(西暦)引用頁-頁の順としてください。

(例)1) 鏑木淳一: IV 検査項目とその判定・事後指導計画 16. リウマトイド因子・血清梅毒反応。日本人間ドック学会監, 篠原幸人編, 人間ドック健診の実際, 文光堂, 東京, 2017, 174-175.

2) Kaplan NM: Measurement of blood pressure. In: Kaplan NM(ed), Kaplan's Clinical Hypertension. 7th edit, Lippincott William & Wilkins, Philadelphia, 2002, 25-55.

- (4) ホームページの引用の場合, 著者名: タイトル. 発表年, 引用元のURL[確認した日付*]の順としてください。*引用のために確認した日付を記入してください。

(例)1) 厚生労働省健康局総務課 生活習慣病対策室: 禁煙支援マニュアル。2006, <http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/kin-en-sien/manual/index.html>[2012.3.2]

2) Ministry of Health, Labour and Welfare: Fact sheet of abridged life tables for Japan 2010. 2011, (In Japanese) <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life10/index.html> (accessed July 28, 2011)

(c) 投稿原稿の部数

投稿原稿は2部, CD-ROMは1部提出してください。

5. 原稿の採択

受け付ける原稿は投稿規定に従ったものとします。投稿規定に従っているかは, 投稿用チェックリストでチェックしてください。投稿規定に従っていないものは受理せず返却しますので投稿規定に従って書き直しをして再提出してください。受理した原稿の採否および掲載順序は編集委員会が決定いたします。査読終了後の再投稿は, 3カ月以内とします。それ以後は新規論文として扱います。なお, 採用された原稿等の返却は原則としていたしません。

6. 原稿の校正

校正は初校のみを著者校正としますが、校正に際しては原則として文章の書き換え、図・表・写真の変更は認められません。

7. 別刷り

別刷りを希望する場合は投稿時に申し込んでください。

30部までは無料ですので、「100部希望：30部(無料) + 70部」のようにタイトルページに明記してください。なお、有料分は20部から10部単位で受け付け、1部100円(税別)をいただきます。

8. 掲載料

刷り上がり原著6頁、症例報告・短報4頁、総説8頁、Letters to the Editor半頁までの費用は当学会の負担とします。それ以上の頁の費用については、1頁ごとの超過掲載料10,000円を著者の実費負担としていただきます。

また、図、表のトレーシング、カラー写真の印刷の費用も著者の実費負担となりますので留意してください。

9. 著作権

論文の内容については、論文の筆頭者が著作者の人格権を代表し、実質的な責任を負います。

また、論文が受理され、本誌に掲載された論文の著作権は当学会に委譲されますので、著作権委譲に関する用紙(投稿承諾書)に著者全員の署名をし、投稿時に郵送にて提出して下さい。投稿承諾書は綴り込みのもの(コピー可)を使用するか、本学会ホームページからダウンロードして使用して下さい(手順：学会ホームページ→学会誌→投稿規定→投稿承諾書)。

なお、本誌に掲載された論文は当学会ホームページに掲載いたします。

10. 利益相反

利益相反がある場合には開示が必要ですので、投稿時に利益相反(COI)自己申告書を提出して下さい。利益相反(COI)自己申告書は綴り込みのもの(コピー可)を使用するか、本学会ホームページからダウンロードして使用して下さい(手順：学会ホームページ→学会誌→投稿規定→利益相反(COI)自己申告書)。

11. 発行月

本誌の発行は年5回(原則6月、8月、9月、12月、3月)とし、8月号は日本人間ドック学会学術大会抄録集とします(ただし、日本人間ドック学会学術大会の開催日により、抄録集の発行月が変わる場合があります)。

12. 原稿送付先

原稿は次の宛先へ郵便書留、レターパックもしくは宅配便でお送りください。

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-10 外苑マンション605

株式会社サイエンティスト社内 日本人間ドック学会誌「人間ドック」編集部

電話：03-3354-2004 FAX：03-3354-2017

E-mail：sadoku@scientist-press.com

附記1：投稿用チェックリストについて

「人間ドック」への投稿に際して、論文作成上の不備のために査読審査が円滑に進まないことがあります。査読審査を円滑に、かつ迅速に進めるための投稿用チェックリストが作成されています。著者はチェックリストの各項目をチェックし、それぞれの□に確認の✓印を記して、投稿論文が投稿規定に合致していることを確認してください。確認後にチェックリストに署名をして、投稿原稿とともに郵送してください。全チェック項目に✓印のない原稿は受理されません。

なお、投稿用チェックリストは、「人間ドック」に添付されていますので、それを使用してください。

附記2：図・表などの引用について

「人間ドック」への投稿に際して、図・表などの引用について注意してください。

1) 引用に際して原著者などの許諾が必要な場合

下記の諸条件をすべて満たす場合には、著作権法上原著者、出版社、学会などの許諾がなくても引用可能です。

- ・既に公表されている著作物であること。
- ・引用する図・表などの量が客観的に正当な範囲(引用者の良心に従う)であること。
- ・図・表などの引用に際して、原型のままの掲載が不可欠であること。なお、改変して引用する場合には許諾が必要となります。
- ・原著者の名誉を毀損したり、原著者の意図に反した利用法をしないこと。
- ・出典を明示すること

2) 引用に際して原著者などの許諾が必要は場合

上記の条件を一項目でも満たさない場合には、著作権法上の引用の範囲を逸脱することになり、「人間ドック」投稿前に、原著者、出版社、学会などの著作権保有者からの許諾を取得する必要があります。なおこの際には、著作権使用料の支払いが発生することがあります。

附記3：参考とすべき倫理指針等

- 1) 「臨床検査を終了した検体の業務、教育、研究のための使用について－日本臨床検査医学会の見解－」(日本臨床検査医学会 臨病理 2010；58：101-103.)
- 2) 「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」(平成13年3月29日 文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号 平成16年12月28日全部改正・平成17年6月29日一部改正、平成20年12月1日一部改正、平成25年2月8日全部改正、平成26年11月25日一部改正、平成29年2月28日一部改正)
- 3) 「遺伝子治療臨床研究に関する指針」(平成27年8月12日 厚生労働省告示第344号 平成29年4月7日一部改正)
- 4) 「遺伝学的検査に関するガイドライン」(平成23年2月 遺伝医学関連10学会：日本遺伝カウンセリング学会、日本遺伝子診療学会、日本家族性腫瘍学会、日本産科婦人科学会、日本小児遺伝学会、日本人類遺伝学会、日本先天異常学会、日本先天代謝異常学会、日本マスキリーニング学会、日本臨床検査医学会(以上五十音順))
- 5) 「ヒト遺伝情報に関する国際宣言」(UNESCO October 16, 2003)
- 6) 「ファーマコゲノミクス検査の運用指針」(平成21年3月24日 日本臨床検査医学会、日本人類遺伝学会、日本臨床検査標準化協議会 平成21年11月2日改定、平成24年7月21日改正)
- 7) 「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(平成23年2月 日本医学会)
- 8) 「厚生労働科学研究における利益相反(Conflict of Interest：COI)の管理に関する指針」(平成20年3月31日：厚生労働省 平成29年2月23日一部改正)
- 9) 臨床研究の利益相反(COI)に関する共通指針(平成22年4月12日：内科系関連10学会)
- 10) 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年12月22日：文部科学省・厚生労働省 平成29年2月28日一部改正)
- 11) 「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」(平成29年4月14日：厚生労働省 個人情報保護委員会)

[改訂日：平成31年3月1日]

「人間ドック」著作権管理委託について

日本人間ドック学会刊行の「人間ドック」の複写に係る著作権管理を、一般社団法人学術著作権協会に委任いたしました。

したがって、今後、「人間ドック」の複写については無断複写ができないこととなり、「人間ドック」の複写に際しては下記の団体からの許諾が必要となります。

ここに、“著作権管理委託についての通知”をいたします。

記

複写される方へ：

「人間ドック」に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル(一社)学術著作権協会

TEL：(03)3475-5618 FAX：(03)3475-5619

E-mail：info@jaacc.jp

Notice about photocopying：

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)6-41 Akasaka,

9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Phone：81-3-3475-5618 FAX：81-3-3475-5619

E-mail：info@jaacc.jp

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone 1-978-750-8400 FAX 1-978-646-8600

公益社団法人
日本人間ドック学会
理事長 篠原 幸人

「人間ドック」投稿用チェックリスト

「人間ドック」への郵送での投稿に際して、著者は、各項目のリストをチェックし、□印に確認の√印を記して、投稿論文が投稿規定に合致していることを確認して下さい。その上で、このチェックリストに署名をして、投稿原稿とともに郵送してください。全チェック項目に√印のない原稿は、受け付けられません。

論文作製について

- 論文構成が、投稿規定のとおり、タイトル頁(表紙)、和文要約、英文要約、本文、文献、図表の題名・説明の順になっているか
- タイトル頁(表紙)を1ページ目とした、ページを入れたか
- 本文と図表は別ファイルに保存したか

タイトル頁(表紙)に次の項目を記載したか

- 和文の題名、著者名、所属施設名、所在地
- 英文の題名、著者名、所属施設名
- 筆頭著者の氏名、職種、連絡先、メールアドレス
- 別冊希望部数
- 共著者の氏名、所属施設名、施設住所

和文要約(2ページ目)

- 600字以内で、目的：、方法：、成績：、結論：にわけて、それぞれ記載したか
- 和文キーワード(4個以内)をつけたか

英文要約(3ページ目)

- ダブルスペース、250words以内で、Objective：、Methods：、Results：、Conclusions：にわけてそれぞれ記載したか
- 内容は和文要約と一致しているか
- 英文キーワード(4個以内)をつけたか
- 英文要約の作製を学会に依頼する場合には、その旨を記載したか

本文(4ページ目以後)

- 本文の構成は、緒言(はじめに)、対象、方法、結果(成績)、考察(案)、結語(まとめ)、利益相反(Conflict of Interest)、(謝辞)、文献の順に整っているか
- I, 1, 1)などの簡条書きにしていないか
注：原著論文では、本文の内容を簡条書きにしない

- 論文内容，ことに方法に関して，倫理的考慮を要する場合には，方法にその倫理問題についての配慮を記載したか
- 略語は，本文の初出の時に正式用語を使い，（）に略語を示したか
- HbA1cはNGSP値で表記されているか

文 献

- 記載方法に誤りはないか
- 引用雑誌名の略号は医学中央雑誌，**Index Medicus**に従い，正しいか
- 文献番号は，本文で引用した順序になっているか

図・表，写真

- 図・表は計10点以内としたか
- 図の説明文(表題)は，図の順に別紙に記載したか
- 表に縦線を使用していないか
注：表には縦線は使用しない
- 図・表の挿入希望箇所を，本文の欄外に記載したか
- 写真の裏面に，筆頭著者名，写真番号，天地を記載したか

投稿直前のチェック

- 投稿原稿は2部あるか
- フロッピーディスクまたはCD-ROM 1部を同封したか
- 責任者に投稿の最終チェックを受けたか
- 投稿承諾書を同封したか
- 利益相反がある場合，利益相反(COI)自己申告書を同封したか

全チェック項目にV印のある事を確認しました。

年 月 日， 著者署名

職 種

投稿承諾書

日本人間ドック学会 殿

論文題名：

上記論文は、_____ 所属の
_____ が筆頭著者であり、日本人間ドック学会誌「人間ドック」に投稿
することを共著者として承諾いたします。なお、本論文は、他誌に発表されたことはなく、他誌に
投稿中でないこと、すなわち二重投稿でないことを認めますとともに、本論文内容に関して、こと
に倫理的問題を含めての全責任を負います。

<利益相反に関して>

日本人間ドック学会誌「人間ドック」に投稿した論文について、論文内に論じられている主題あるい
は資料について、利益を有する企業もしくはその他の営利を目的とした団体との経済的利害関係が
ある場合は、論文中に開示していることを認めます。

※利益相反がある場合は、利益相反(COI)自己申告書で開示をしてください。

また、本論文が「人間ドック」に掲載された場合、本論文の著作権は日本人間ドック学会が保有する
ことを認めます。

※著者が人間ドック学会のA会員の場合は、署名欄の右に会員番号も併記してください。

筆頭著者署名 _____ (A)

共著者署名 _____ (A) 共著者署名 _____ (A)

共著者署名 _____ (A) 共著者署名 _____ (A)

共著者署名 _____ (A) 共著者署名 _____ (A)

共著者署名 _____ (A) 共著者署名 _____ (A)

共著者署名 _____ (A) 共著者署名 _____ (A)

共著者署名 _____ (A) 共著者署名 _____ (A)

年 月 日 提出

利益相反(COI)自己申告書

論文題名： _____

筆頭著者および共同著者の、投稿時から遡って過去3年以内の発表内容に関する企業・組織または団体との利益相反について下記に申告してください。

項目	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
①報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有・無	
②株式の利益 1つの企業から年間100万円以上 あるいは株式5%以上を保有	有・無	
③特許権使用料 1つにつき年間100万円以上	有・無	
④講演料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑤原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有・無	
⑥研究費などの総額 治験、受託研究、共同研究などについて、 1つの企業・団体から支払われた総額が 年間200万円以上	有・無	
⑦奨学寄付金などの総額 1つの企業・団体から、申告者個人または申 告者が所属する講座・分野あるいは研究室の 代表に支払われた総額が年間200万円以上	有・無	
⑧企業などが提供する寄付講座 企業や団体が提供する寄付講座に所属して いる場合	有・無	
⑨旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有・無	

著者名（署名）： _____

年 月 日 提出